

第3回 JSTEシンポジウム 愛媛

第3回シンポジウムでは、セッション内容・トピックの充実、
多方面からの参加者の増加方策を検討していく予定です。
開催概要やプログラム、参加費、参加申込方法等の詳細については、
今後、機関誌「交通工学」や交通工学研究会 WEB サイトにてお知らせします。

見どころ

愛媛・松山は 議論する環境が整っています

愛媛・松山には、道路空間の再配分を実現した「花園町通り」や
サイクリストの聖地として広く知られる「しまなみ海道」をはじめ
交通工学に関連する優れた事例が多数存在します。こうした好事例を現地で体験しつつ、
道後温泉で一息つきながら議論を行ってみたいはいかがでしょうか。



- 1
- 2
- 3

1 花園町通り
2 しまなみ海道
3 道後温泉本館

交通工学を
語り合う2日間

2021
12/2・3
木 金

会場 松山市総合
コミュニティセンター

主催 一般社団法人
交通工学研究会

特徴

JSTE シンポジウムは 交通工学に関する最新技術・情報のショーケース

JSTE シンポジウムは、交通工学研究会における各種委員会等の講習会やセミナー、
ミニシンポジウムなどの企画を併せ持ち、一度に様々な体験が可能な、
いわばショーケース的な位置づけのイベントです。毎年12月頃に全国各地で
巡回開催することとし、2019年福岡開催からスタートしました。

集結

交通工学研究会の各種委員会、開催地、スポンサー企業の企画セッションが一堂に集結！

体験

講習会、セミナー、シンポジウム等のイベントを一度に体験できます！

専門家

業界でお悩みのことはありませんか？
交通工学の専門家・技術者と直接話をするのできるチャンスです。

意見交換

官学民の垣根を越えて意見交換できるチャンスです。
国、地方公共団体、警察、高速道路会社、コンサルタント、メーカー、大学、研究機関など
幅広い業種からの参加を想定しています。

2019
福岡

交通工学ショーケースのスタート

参加者合計：365名
(行政：69名、大学：47名、民間他：249名)



セッションの様子

・地元特別セッション

「九州における道路交通の新たな取り組みと勘どころ」と題して、九州地整、熊本県、福岡県警などから話題提供がありました。

・スポンサーセッション

ビッグデータ解析、MaaS、画像解析などの最新技術を自動運転の社会実装、地域交通運営、交通計画・交通運用にどのように活かしていくか、幅広く議論しました。

2020
札幌

参加者増加 官学民の情報交換の場として定着

参加者合計：494名（オンライン開催）
(行政：55名、大学：52名、民間他：245名、学生142名)

・全体セッション・座談会

「新しい生活様式と交通工学、そして J S T E」と題して、With/Post Corona時代における交通工学、研究会に期待することを語り合いました。

・地元特別セッション

「北海道における次世代モビリティのあり方」と題して、自動運転時代の次世代モビリティと北海道型MaaSに関して、取り組みの紹介と活発な議論を行いました。

参加者
の声

参加者からの意見、アンケートなどより

事前に資料（セッション概要や発表パワーポイント）をダウンロードすることができ、自分がわからない内容や質問項目を整理することができ、ポイントを踏まえ効率よく聴講することができた。資料自体も非常に貴重！
／第1回参加者・コンサルタント

技術的な動向だけでなく、どのようなニーズや取り組むべき課題があるかが見えてきた。
／第1回参加者・コンサルタント



オンラインは場所を選ばず参加でき、セッションも柔軟に選べ、参加しやすかった。

／第2回参加者・コンサルタント・行政参加者より